

産地パワーアップ事業評価書

都道府県名	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アイ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が地域 協議会へ 改善指導 を必要とし た地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	【参考】 評価対象 地区数のうち、達成率 80%未満の 地区数	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
熊本県	62	37	25	85%	7	有	7	<p>本県において今回の事業評価対象となった25地区のうち、18地区が達成率90%を上回り成果目標を達成し、当該事業の実施が産地の生産力の向上に繋がっている。</p> <p>しかし、残る7地区については未達成であったため、成果目標未達成の地区については、今後ヒアリング等を実施し未達成要因を分析するとともに、関係機関と連携しながら、品質向上や収量増加に向けた指導及び成果目標達成に向けた取組の推進を行っている。</p>	<p>県の成果目標平均達成率は、国が達成と判断する90%に対し85%であり、目標は達成されていない。このため、農政局から県に対し、成果目標の達成に向け、要因の分析及び改善措置の提出を求めるとともに、未達成の地域協議会及び取組主体に対しては、県担当者による指導を行うなど、県による主体的な取組を指導する。</p> <p>なお、熊本県が改善指導を必要とした地区（達成率90%未満）については、7地区である。</p> <p><参考：評価対象地区の概要></p> <p>【野菜】 令和2年度の評価対象の14地区のうち、目標達成している地区は11地区、未達成が3地区となっている。 販売額増加の目標が未達成となった3地区の主な要因は、1地区（ごぼう）は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による販売単価の下落、2地区（さといも、いちご）は相場全体の価格上昇による価格補正の結果による未達成である。</p> <p>【果樹】 令和2年度の評価対象の6地区のうち、目標達成している地区は4地区、未達成が2地区となっている。 販売額増加の目標が未達成となった2地区の主な要因は、1地区はうんしゅうみかんのシートマルチ導入により単価は維持されたものの、園地の改植・新植・園地造成等により生産量が減少したこと、1地区は整備したうんしゅうみかん、不知火の多孔質資材の設置の不備により夏秋期の降雨を遮断できず、ブランド率が向上しなかったことによるものである。</p> <p>【花き】 令和2年度の評価対象の1地区は、目標未達成となっている。 販売額増加の目標が未達成となった1地区の主な要因は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う需要の減少と単価の下落によるものである。</p> <p>【薬用作物】 令和2年度の評価対象の1地区は、目標達成している。</p> <p>【そば】 令和2年度の評価対象の1地区は、目標未達成となっている。 販売額増加の目標が未達成となった1地区の主な要因は、他地域も豊作となったことで、供給過剰になり販売単価が下落したことによるものである。</p> <p>【桑】 令和2年度の評価対象の1地区は、目標達成している。</p> <p>【WCS用稲】 令和2年度の評価対象の1地区は、目標達成している。</p>